

## 第 15 卷 PDF 読本



**総武本線（銚子～東京）**

**横須賀線（品川～久里浜）**

2024年5月27日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

- 第1章 総武本線（銚子～千葉：営業キロ 81.3 km）・・・5
- 第2章 総武本線（千葉～津田沼：営業キロ 12.5km）・・・15
- 第3章 総武本線（津田沼～錦糸町：営業キロ 21.9km）・・・22
- 第4章 総武本線（錦糸町～東京：営業キロ 4.8km）・・・32
- 第5章 総武緩行線他（錦糸町～御茶ノ水～神田：営業キロ 5.6 km）  
・・・38
- 第6章 横須賀線（品川～久里浜：営業キロ 63.6km）・・・48

## はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。早くも第十弾目節目として、首都圏鉄道網に接続する、千葉県・東京・神奈川県を走る、総武本線・横須賀線の旅（営業キロ 189.7 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 24 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

## <ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、第3巻（第17編）として国立国会図書館に納本済みのため、本図書館や榎原勉文庫にて、次のPDF読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第17編（日本横断歩き鉄の旅）

# 総武本線・横須賀線



2021年7月27日 歩く鉄道作家 榎原 勉

## 第1章 総武本線（銚子～東京）

### 第1節 2002年4月6日：外川～銚子～旭（含む銚子電鉄）

銚子(13:05)～松岸～猿田(16:30)～倉橋～飯岡(18:00)～旭(18:50)

平成14年4月6日（土）から半年前から思いついた総武線シリーズに挑戦することとした。銚子は今だかつて行ったことがないので、期待である反面不安も一杯であった。銚子への道は、佐倉から成田回りと八街（やちまた）回りがあり、このうち総武本線は八街回りを指す。南林間6時20分の電車で、新宿、千葉、銚子を目指す。電車の窓から少しでも不安を払拭するため、川はないか、鉄道の近くに道があるか否かをチェックする。佐倉から成東にかけて山間で歩くのに難しい感がしてきた。銚子には10時13分に着いた。それから50m位先の10時15分発の銚子電気鉄道に乗り換え、終点外川駅には10時34分の到着となった。



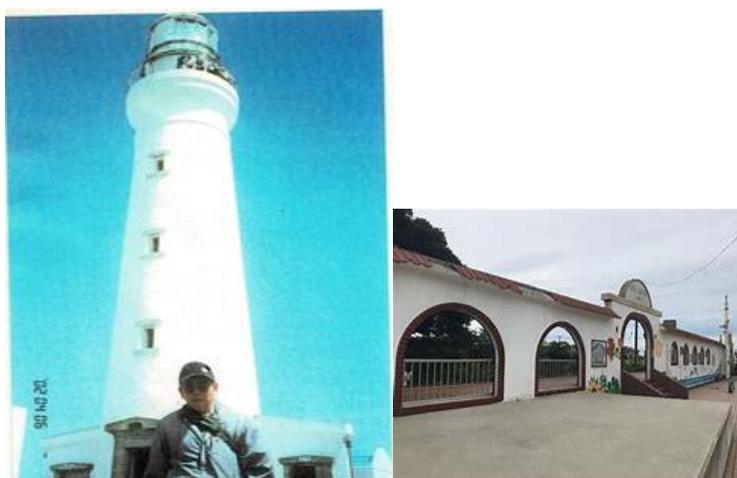
※銚子駅

外川駅を記念撮影した後、犬吠崎駅とは逆の方向に進み、海岸線に出る。海岸線で舟を背景に記念写真を撮る。海岸線に沿って歩き犬吠崎を目指す。流石太平洋に面しているだけあり、波は動的であった。40分位歩いて、台風シーズンによく出てくる犬吠崎灯台に11時20分頃着く。入場料150円を出し、高さ27m、幅90cm位の99個の階段を持つ灯台に登る。



※銚子電鉄、外川駅

11時30分、灯台を後にする。先を急いでいたため、銚子電鉄沿線つたい歩きは止め、通常の幹線道路を通り銚子駅に向うこととした。本銚子駅近郊で進行中の道路と電車の線路が交差していた。右を見ると、本銚子の駅だった。後飯町、中央みどり公園を通り銚子駅に13時5分に着く。



※犬吠岬、犬吠駅

犬吠崎灯台（案内資料より）

位置 北緯 35 度 42 分 28 秒、東経 140 度 52 分 07 秒

高さ 地上から灯火まで 27m、水面から灯火まで 52m

光達距離 19.5 海里

初点灯 明治 7 年 11 月 15 日

駅前の「麗華」のラーメン屋で海鮮丼セットを食べる。地図で今後の道の確認をしていたところ、店の人に「何処から着たのか。今日は泊まりですか。」と尋ねられる。「神奈川からで、日帰りです。週末には遠くまで来てウォーキングをしています。」と答える。「足が丈夫なのですね。頑張ってください。」と励まされる。



※松岸駅、猿田駅への路

地図で確認後、国道 126 号線は取り止め、松岸、椎柴（成田回り）駅を通るコースを選定した。途中、海上（うながみ）、東庄（とのしょう）という道路標識を見つける。椎柴駅（15 時 35 分）先のところの舟木山東光寺を左に折れ、猿田駅を目指す。猿田県道踏切（成田回り）、銚子西高校それから野尻街道踏切（総武本線）を越え、猿田駅には 16 時 30 分に着く。



※猿田駅、倉橋駅

猿田近郊は自然が残っておりとてもよかった。うぐいすの鳴き声も聞こえて来た。倉橋、飯岡までは順調に進むことが出来た。倉橋駅で銚子行きの電車が来る。倉橋駅のトイレは綺麗だった。飯岡駅には 18 時に着く。18 時を知らせる地元のサイレンが聞こえて来た。そう言えば、内房線の時にも太海近郊で 12 時のサイレンを聞いたことがある。ここで終わりにすればよかったのであるが、当初の目標が旭だったので、2.7Km 先の旭を目指す。後悔したが、後の祭りであった。不案内と日没のため道に迷う。



※飯岡駅、旭駅

ここは、冷静な気持で、5人の住人に聞き難を逃れる。何時のまにかJR線が右方向から、左方向に移動している。今でも、狐にでも騙された心境である。旭駅には18時50分頃着く。ここで、タベ誤って旭発時刻を転記したため、旭駅で1時間の足止めとなる。私の歩きは、特急を使用しないことを前提としており、途中新宿行きと特急を見送った。横浜とのナイター（松井2本アーチ。巨人の9対5で勝つ。）を聞いて時間をつぶす。19時51分発の電車で自宅に向う。自宅には23時55分であった。家内は帰宅が遅いので心配していたとのこと。今日の成果は、23.3Km（内銚子電鉄6.4km）、万歩計は56,318歩だった。今日も充実した一日だった。

## 第2節 2002年5月25日（土）：旭～成東

旭～千潟（ひがた）～八日市場(12:20)～飯倉～横芝～松尾～成東(17:30)

第2回目は、前回から7週間経過後の2002年5月25日（土）となった。7週間の間色々なことがあった。ひとつは12年間机を並べて一緒に仕事をした国分正雄さん（57歳）が4月11日未明他界したことである。国分さんには公私ともにお世話になった。国分さんとの最初の出会いは昭和48年九段に本社がある頃の洗面所である。一方、最後の言葉は、昨年9月筑波大学病院に見舞に行った時である。残念ながら、本人には会えなかった。電話での見舞いとなった。その時の言葉が、今ではダイニングメッセージとなった。

「樫原さん心配しなくていいよ。気持だけで十分。」

大変苦しそうだったので、その声を聞いて切らせてもらった。国分先輩から色々指導を頂いたが、特に印象に残っている点は、「文章とは少なくとも主語と述語の関係が妥当であればよい。」である。この名言は、現在私の財産の一つとなっている。

次に、4月13日（土）は、高遠にコヒガン桜を見物のために行けず。4月20日（土）と27日（土）は仕事のために行けず。5月連休は家事都合で実家に帰る。1年半ぶりに高校時代の先輩である乾さんと5月3日（金）旧交を温める。5月11日（土）、18日（土）も仕事のために行けず。そういう意味で今回のウォーキングは久しぶりとなった。



※千潟駅



※八日市場駅

南林間 6 時 20 分の電車で総武本線にある旭駅を目指す。旭駅には、10 時前に着く。今日は久しぶりの五月晴れとなった。電車の窓から見た稲は順調に青々となりつつあった。今日は、国道 126 号線に沿って総武本線が走っており、また平坦であり、宇都宮＝小山間と同じ位楽なウォーキングであった。干潟（ひがた）、八日市場、飯倉、横芝、松尾、成東と駅の写真を撮りながら進んだが、残念ながら横芝駅だけはクリアできなかった。旭スポーツ森公園、鎌数伊勢大神宮、旭橋、干潟大橋を通り八日市場に向う。八日市場駅前のスーパーの軒下に子燕の姿を見て、夏の訪れを肌で感じた。

「五月晴れ 元気で育て 子燕よ」

八日市場の郵便局前で葉書という植物に関する説明文があった。八日市場駅前で 12 時 20 分頃となったので、「真来」という店で味噌ラーメンと半チャーハンを食べる。今日は初夏を思わせる位日差しが厳しかった。一息入れ、横芝町、松尾町を経由して成東を目指す。成東の近郊は苺園があり苺狩りの看板が目についた。石橋・小川という苺園があった。今日は順調に推移し、成東には 17 時半頃着く。



※飯倉駅

次の駅である日向には約 6 Km 先なので、早い当初の予定通りこの駅で打ち切ることにした。成東駅の構内に入って気がついたのであるが、ここでも伊藤左千夫の故郷の思いを記した石碑が建てられていた。伊藤左千夫の石碑は、北総線走破の時も矢切駅近郊「野菊の墓」文学碑でもみかけた。伊藤先生が成東に縁のある文学者であることを勉強させられた。

17時40分位の電車で家路に向う。自宅には21時頃着く。今日は、広島に4対3で逆転され気分は良くない。本日の成果は51,194歩、営業距離26.7Kmであった。



※横芝駅、松尾駅



※成東駅、伊藤佐千夫の石碑

### 第3節 2002年8月10日(土)：成東～佐倉

成東(11:50)～日向～八街～榎戸～南酒々井(17:30)～佐倉(19:50)

第3回目は、仕事等の都合で8月10日(土)となった。朝急遽思いつき南林間を8時41分発の電車で成東に向った。現地でのスタートは11時50分となった。昼前のスタートのため、屋外は33度位には成っていただろう。前回の成東までのウォーキングは田植え間もない時期であったが、今日は稲刈り間もない時期を迎え、月日の経つ速さを痛感した。今日は、日向(ひゆうが)、八街(やちまた)、榎戸、南酒々井(しすい)と全ての駅の写真撮影に成功した。



※成東駅、日向駅

今日も常磐線の亀有近郊と同様、うっかりして八街から榎戸の間で千葉県地図を落としてしまった。それで急遽榎戸駅の近郊の本屋で千葉県の地図を購入する。和田踏切と日向街道踏切を渡り JR 線に沿って進む。日向駅の近郊のコンビニで弁当を買い昼食をとる。



※八街駅への路

南酒々井駅近郊で 17 時半となる。南酒々井までは順調に推移したが、佐倉までの道のりに時間を要した。国道 51 号の交差点に出た時、直進が佐倉市内、左折が千葉方面となっており、JR 線の方向性から判断して、当然左折だろうと確信した。道路標識にも佐倉まで 4 Km とありこの道で正しいと思い込んだ。ところが、JR 線を渡る橋があり、かつ東関東自動車道を再度越えたため、この道路では間違っているのではないかの疑問を持つようになって来た。辺りは暗くなり地図を見るにも明りが無い。また、国道のため通行人にも会わない。やむを得ず直進しかないと思い歩き続ける。神門の交差点の近くでガソリンスタンドがあったので、現在の位置を聞くことにする。案の定道を間違えていた。「JR 佐倉までは随分遠い」とのコメントがあった。「100m 先の交差点を右折して直進しなさい」とのコメントをもらった。



※榎戸駅、南酒々井駅

何人もの人に聞きながらやっと 20 時前に佐倉駅に到着することができた。今日は色々なことがあったが、久しぶりのウォーキングの醍醐味を楽しむことができた。言うまでもなく、私の場合、真夏のウォーキングは距離もでるし、汗もかくし、それからナイター中継もあり、最高に魅力を感じている。「暑い時は熱いものを食べよ」の格言にある通り、汗をかくと意外に涼しく感じる。特に木陰での一服は最高の気分になる。久しぶりのスリリングを楽しんだ。今日の営業距離は 21.6Km、万歩計は 57,543 歩であった。運良く電車の乗り継ぎがよく自宅には 22 時 40 分に着くことができた。同時に今日は、広島戦で川中が 4 の 4 と大活躍をした一日でもあった。巨人が 0 - 3 から逆転勝ちした日であったので疲れも半減となった。



※佐倉駅

## 第4節 2002年9月14日(土):佐倉～千葉

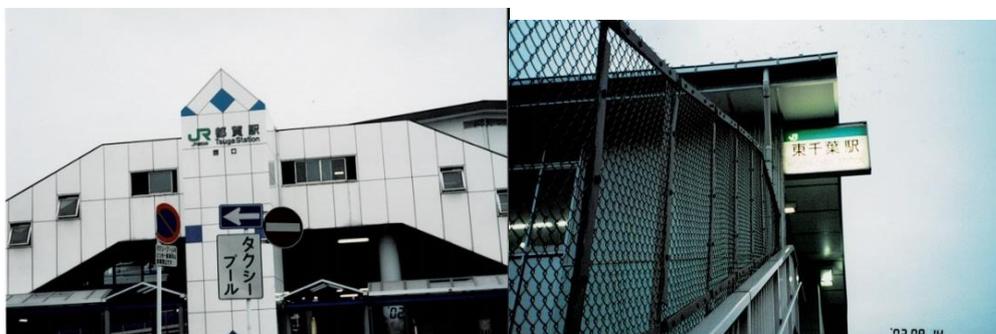
佐倉(11:48)～物井～四街道(14:00)～都賀～東千葉～千葉(17:32)

9月14日(土)、急遽思い立ち、総武本線佐倉～千葉間16.1Kmの総仕上げに挑戦する。南林間駅を9時23分、千葉駅を11時31分、佐倉駅には12時前に到着する。電車の窓から物井駅近郊で稲刈りを終わわらを乾かしている光景も見えてきた。このシリーズの1回目は春本場であった。月日の速さを感じるシリーズでもあった。仕事や家庭の行事等でこのシリーズを終らせるのに時間がかかってしまった。



※物井駅、四街道駅

今日も前回のウォーキングで通過した北口のところ誤って南口に出る。曇り空で方向全く分からなかったこともあり、四街道方面と逆の方向に行っていた。前回のウォーキングでセブンイレブンが駅前にあることを微かに覚えていたので、もしかすると間違った方向に行っているのではと思い、磁石で確認する。やはり思った通り東の方向に行っていた。念のため通行人にも聞く。ウォーキングは最初の方向性を決めるのに神経を使う。そう言えば、京葉線走破の時も、舞浜駅を降りて東京方面のところを浦安の方向に向っていた失敗談が懐かしく思い出された。



※都賀駅、東千葉駅

陸橋を渡り四街道の方向を目指す。途中物井駅に立ち寄る。国道から 500m くらい外れたところにあった。東関東自動車道が駅の近くを通っていた。四街道駅の手間の「千成」で 2 時過ぎ味噌ラーメン定食を食べる。桜通りに四街道市役所があった。バブル期に建てられたのであろう。とても近代的でかつゴウジャスな感じのする建物であった。四街道市役所に見とれて愛用のペットボトル入れをもう少しで紛失するところであったが、危機一髪気がつく。四街道駅からは主として 64 号を通る。都賀、東千葉を通り千葉には 5 時半過ぎに到着する。千葉駅に近づくにつれて、頭上の千葉市モノレールが目立って来た。このモノレールは大船を走るモノレールと同様レールにぶら下がるタイプの車両だった。

自宅には 20 時頃、万歩計は 33,512 歩（佐倉から測定）だった。外川から千葉までの総武本線 87.7Km の制覇終る。同時に外川から八王子までの総武線系 171.2Km が繋がった。本日、川中がサヨナラホームラン 1 号で阪神を 5 - 4 で破る。マジック 1 1 となる。総武本線走破を飾るのにふさわしい一日であった。



※千葉駅